



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

東

上場会社名 太洋物産株式会社

上場取引所

コード番号 9941

URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 松島 伸介

問合せ先責任者（役職名） 総務部 部長

（氏名） 井坂 勇登

TEL 03-5946-8000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	14,911	6.1	223	16.4	145	7.6	119	3.3
2025年9月期第3四半期	14,048	△0.2	191	2.4	135	△7.0	115	3.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	61.94	—
2025年9月期第3四半期	59.94	57.44

（注）2026年9月期第3四半期は、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	9,196	1,137	12.1
2025年9月期	8,363	993	11.6

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 1,113百万円 2025年9月期 975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	25,052	27.4	290	17.2	228	31.2	182	22.6	94.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	1,934,019株	2025年9月期	1,934,019株
2026年9月期3Q	847株	2025年9月期	823株
2026年9月期3Q	1,933,195株	2025年9月期3Q	1,933,219株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、中東情勢の動向や金融資本市場の変動、米国の通商政策の影響等による、輸入コスト及びエネルギーコストの継続した上昇による消費の減速など、消費マインドの見通しは足踏み状態が続いております。このように先行きが見えない状況の中、当第3四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、外食産業を中心とした牛肉・輸入鶏肉の原料販売については、原料価格の上昇や輸送コストの上昇により利益を確保することが難しい状況が続いております。しかしながら、輸入鶏肉は、新規販売の成約を着実に進めることができ、タイ産加工食品については、付加価値のついた新規アイテムの成約や、利益率の高い商材の販売を大幅に増加させることができました。

次に農産品では、新規契約の取引開拓を進めておりますが、販売が進まず、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引が伸びず、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

輸入豚肉に関しては、スペイン産豚肉の輸入停止により、ブラジルからの輸入を進めているものの、当初の想定通り、船積が進まず、前年同期比では売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は149億11百万円（前年同四半期累計期間比6.1%増）、営業利益2億23百万円（前年同四半期累計期間比16.4%増）、経常利益1億45百万円（前年同四半期累計期間比7.6%増）、四半期純利益1億19百万円（前年同四半期累計期間比3.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

（食料部）

牛肉については、厳しい価格高騰が続いておりますが、新規の提案営業が成約し、売上高・取扱数量ともに増加となりました。

輸入鶏肉は、新規契約先及び取扱商材の拡充を進めており、価格が高騰し、売上高・取扱数量ともに増加しました。一方、国産鶏肉については、取引を安定的に確保するため、新規取引先の開拓に努めておりますが、売上高・取扱数量ともにやや減少となりました。

タイ産加工食品は、新規商材の提案による利益率の高い商材の契約量が増加し、売上高・取扱数量、利益ともに大幅に増加となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、91億12百万円（前年同四半期累計期間比45.1%増）、セグメント利益は、2億44百万円（前年同四半期累計期間比40.2%増）となりました。

（農産部）

農産品は、新規契約の取引開拓による商品の販売が進まず、売上高・取扱数量はともに減少し、利益も減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、16億78百万円（前年同四半期累計期間比8.6%減）、セグメント利益は、18百万円（前年同四半期累計期間比38.6%減）となりました。

（中国開拓部）

中国関連におきましては、中国市場の潜在的需要の高さはあるものの、中国経済の影響もあり中国向け自動車販売・中国のネット事業者向け化粧雑貨等の販売が減少し、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

化学品は、価格競争や為替相場の変動に加え、中東情勢の影響も加わり、商品となる原料の確保が厳しく、売上高・取扱数量・利益は減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、38億18百万円（前年同四半期累計期間比9.0%減）、セグメント利益は、81百万円（前年同四半期累計期間比30.2%減）となりました。

（生活産業部）

輸入豚肉に関しましては、市場の在庫過剰感、為替相場、輸送コストの上昇に加え、スペイン産豚肉の輸入停止により、ブラジルからの輸入を進めているものの、現地での船積が進まず、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、3億2百万円（前年同四半期累計期間比82.6%減）、セグメント損失は、3百万円（前年同四半期累計期間は11百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期累計期間の資産につきましては、主に商品の増加により前事業年度末に比べ8億32百万円増加し、91億96百万円となりました。

負債につきましては、主にタイ産加工品及び輸入鶏肉の販売需要の拡大により、主に短期借入金及び未払費用が増加した結果、前事業年度末に比べ6億87百万円増加し、80億58百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ1億44百万円増加し、11億37百万円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期業績予想については、2025年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	265,969	317,023
受取手形及び売掛金	5,888,553	5,388,872
電子記録債権	8,219	—
商品	1,302,598	2,355,161
デリバティブ債権	3,485	30,420
その他	290,895	517,526
流動資産合計	7,759,722	8,609,003
固定資産		
有形固定資産	211,436	205,521
無形固定資産	17,596	20,164
投資その他の資産	375,140	361,628
固定資産合計	604,172	587,315
資産合計	8,363,894	9,196,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,100,492	1,177,024
短期借入金	5,907,835	6,254,403
未払費用	151,099	340,369
その他	74,313	138,363
流動負債合計	7,233,740	7,910,161
固定負債		
退職給付引当金	100,666	102,035
その他	36,404	46,150
固定負債合計	137,071	148,185
負債合計	7,370,812	8,058,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	558,438	678,182
自己株式	△1,037	△1,064
株主資本合計	972,986	1,092,703
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	2,418	20,831
評価・換算差額等合計	2,418	20,831
新株予約権	17,677	24,436
純資産合計	993,082	1,137,971
負債純資産合計	8,363,894	9,196,319

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

	（単位：千円）	
	前第3四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	14,048,180	14,911,814
売上原価	13,476,169	14,339,114
売上総利益	572,011	572,699
販売費及び一般管理費	380,238	349,297
営業利益	191,772	223,402
営業外収益		
受取賃貸料	9,774	9,379
受取配当金	—	51
保険解約返戻金	367	—
その他	407	6,395
営業外収益合計	10,549	15,826
営業外費用		
支払利息	55,901	86,275
為替差損	4,394	—
その他	6,983	7,565
営業外費用合計	67,279	93,840
経常利益	135,043	145,388
税引前四半期純利益	135,043	145,388
法人税、住民税及び事業税	20,768	24,438
法人税等還付税額	△1,505	△17
法人税等調整額	△110	1,224
法人税等合計	19,152	25,644
四半期純利益	115,890	119,744

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,784千円	6,204千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	食料部	農産部	中国開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,278,159	1,836,547	4,196,490	1,736,983	—	14,048,180
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,278,159	1,836,547	4,196,490	1,736,983	—	14,048,180
セグメント利益	174,256	29,980	116,968	11,183	△140,616	191,772

（注） 1. セグメント利益の調整額△140,616千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年12月17日に開示いたしました「2024年9月期決算説明資料」に記載の通り、当社は、①安定的な利益の獲得及び取扱商材の拡充、②資金効率を鑑みた取扱品目の取捨選択、③中国事業の取扱強化により、2025年9月期に営業利益295百万円の達成を目指しています。これまで営業開拓部に含まれておりました農産品と中国関連分野を独立させ、また、化学品については生活産業部に移すことといたしました。その結果、「食料部」、「農産部」、「中国開拓部」、「生活産業部」の4セグメントに変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	食料部	農産部	中国開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9,112,432	1,678,378	3,818,800	302,202	—	14,911,814
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,112,432	1,678,378	3,818,800	302,202	—	14,911,814
セグメント利益	244,373	18,395	81,538	△3,550	△117,352	223,402

（注） 1. セグメント利益の調整額△117,352千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年12月26日に開示いたしました「報告セグメントの変更に関するお知らせ」に記載の通り、効率的な事業推進を目的として人員配置の見直しを実施し、それに伴い、これまでは生活産業部として取り扱っておりました化学品を、第2四半期会計期間より中国開拓部として取り扱うことと致しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。